

福知山市病院事業業務状況報告書
(令和7年4月1日～令和7年9月30日)

1 事業の概況

市立福知山市民病院 本院の当期末の延べ患者数は、入院は56,755人（一日平均 310.1人）となり前年度同期に比し 172人（一日平均0.9人）の増加、外来は120,796人（一日平均974.2人）となり前年度同期に比し625人（一日平均 5.0人）の減少となりました。

設備関係につきましては、耳鼻科手術用ナビゲーションシステムや医用トレッドミルをはじめとした医療機器整備のほか、手術室空調設備や給湯配管設備などの施設の老朽化に伴う設備の更新工事を進めました。

収支につきましては、入院、外来ともに診療単価が上がったことにより、診療収入は前年度同期に比し7.24%の増加となりましたが、人件費や物価高騰の影響により給与費、材料費及び経費など支出が大きく増加した結果、当期は前年度に比し24.55%減の597,401,552円の純利益となりました。

大江分院の当期末の延べ患者数は、入院は 8,562人（一日平均 46.8人）となり前年度同期に比し242人（一日平均 1.3人）の減少、外来は 6,939人（一日平均 56.0人）となり前年度同期に比し57人（一日平均 0.4人）の減少となりました。

設備関係につきましては、特殊入浴装置やAED装置などの医療機器の更新を行いました。

収支につきましては、入院の患者数が減少したうえに診療単価が下がった影響が大きく、診療収入は前年度同期に比し5.63%減少し、当期は前年度に比し34.16%減の35,890,881円の純利益となりました。

この結果、病院事業全体では633,292,433円の純利益を計上しました。

2 経理の状況

令和7年度 上半期福知山市病院事業収支計算書

収 益
(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	8,072,357,688	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	288,227,642	受取利息、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看護学校収益	2,268,622	授業料収益、その他看護学校収益
4 訪問看護収益	11,929,074	訪問看護収益
5 特 別 利 益	90,241,570	その他特別利益
合 計	8,465,024,596	

費 用
(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	7,662,312,639	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	124,717,507	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看護学校費用	32,711,961	給与費、経費、減価償却費
4 訪問看護費用	11,990,056	給与費、経費
合 計	7,831,732,163	

(内訳) 本院分

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	7,783,966,789	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	267,674,302	受取利息、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看護学校収益	2,268,622	授業料収益、その他看護学校収益
4 特 別 利 益	90,241,570	その他特別利益
合 計	8,144,151,283	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	7,392,782,598	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	121,255,172	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看護学校費用	32,711,961	給与費、経費、減価償却費
合 計	7,546,749,731	

(内訳) 大江分院分

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	288,390,899	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	20,553,340	補助金、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 訪問看護収益	11,929,074	訪問看護収益
合 計	320,873,313	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	269,530,041	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	3,462,335	支払利息、長期前払消費税償却、雑支出
3 訪問看護費用	11,990,056	給与費、経費
合 計	284,982,432	

令和7年度 上半期福知山市病院事業貸借対照表

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	14,890,532,067	1 企業債(固定負債)	6,539,917,918
2 投資その他の資産	1,101,648,998	2 引当金(〃)	1,677,226,838
3 現金預金	3,662,079,468	3 企業債(流動負債)	566,277,304
4 未収金	2,727,584,319	4 未払金	901,229,609
5 貯蔵品	48,127,968	5 前受金	227,500
6 短期貸付金	2,300,000,000	6 預り金	68,936,980
7 前払金	8,600,000	7 その他流動負債	26,790,121
8 前払費用	8,590,020	8 長期前受金	1,071,845,164
9 その他流動資産	403,789,306	9 自己資本金	5,173,681,092
10 貸倒引当金(△)	5,487,642	10 資本剰余金	7,380,195,999
		11 利益剰余金	1,105,843,546
		12 当期純利益	633,292,433
合計	25,145,464,504	合計	25,145,464,504

(減価償却累計額 14,324,420,543 円)

(長期前受金収益化累計額 6,289,152,482 円)

(内訳) 本院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	14,213,832,980	1 企業債(固定負債)	6,223,077,393
2 投資その他の資産	1,080,232,090	2 引当金(〃)	1,581,562,592
3 現金預金	3,289,308,144	3 企業債(流動負債)	541,730,508
4 未収金	2,609,521,746	4 未払金	886,921,185
5 貯蔵品	48,127,968	5 前受金	227,500
6 短期貸付金	2,300,000,000	6 預り金	68,752,416
7 前払金	8,600,000	7 その他流動負債	26,405,129
8 前払費用	8,528,340	8 長期前受金	843,607,707
9 その他流動資産	397,013,489	9 自己資本金	5,173,681,092
10 貸倒引当金(△)	5,487,642	10 資本剰余金	7,278,156,635
		11 利益剰余金	728,153,406
		12 当期純利益	597,401,552
合計	23,949,677,115	合計	23,949,677,115

(減価償却累計額 13,754,119,949 円)

(長期前受金収益化累計額 5,571,859,146 円)

(内訳) 大江分院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	676,699,087	1 企業債(固定負債)	316,840,525
2 投資その他の資産	21,416,908	2 引当金(〃)	95,664,246
3 現金預金	372,771,324	3 企業債(流動負債)	24,546,796
4 未収金	118,062,573	4 未払金	14,308,424
5 前払費用	61,680	5 預り金	184,564
6 その他流動資産	6,775,817	6 その他流動負債	384,992
		7 長期前受金	228,237,457
		8 自己資本金	0
		9 資本剰余金	102,039,364
		10 利益剰余金	377,690,140
		11 当期純利益	35,890,881
合計	1,195,787,389	合計	1,195,787,389

(減価償却累計額 570,300,594 円)

(長期前受金収益化累計額 717,293,336 円)

3 企 業 債

(本院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期增加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平7年度	567,504	0	281,535	285,969
〃 〃 10 〃	165,525,052	0	19,942,163	145,582,889
機構企業債 〃 14 〃	254,832,860	0	20,487,538	234,345,322
〃 〃 15 〃	181,392,922	0	12,175,471	169,217,451
〃 〃 16 〃	201,945,170	0	11,657,026	190,288,144
〃 〃	137,359,829	0	7,928,920	129,430,909
政府企業債 〃	1,236,447,104	0	52,932,783	1,183,514,321
機構企業債 〃 17 〃	865,293,659	0	44,114,443	821,179,216
政府企業債 〃	1,496,221,266	0	60,483,995	1,435,737,271
機構企業債 〃 18 〃	169,792,027	0	7,673,700	162,118,327
政府企業債 〃	116,310,741	0	4,286,534	112,024,207
〃 〃 29 〃	94,695,339	0	1,859,279	92,836,060
〃 〃 30 〃	155,900,864	0	3,061,009	152,839,855
〃 令2 〃	51,477,316	0	25,738,465	25,738,851
銀行等企業債 〃	4,939,338	0	2,468,469	2,470,869
政府企業債 〃 3 〃	194,908,450	0	48,716,150	146,192,300
銀行等企業債 〃	32,075,158	0	8,004,669	24,070,489
政府企業債 〃 4 〃	330,780,065	0	54,992,346	275,787,719
〃 〃 5 〃	1,172,100,000	0	145,745,039	1,026,354,961
銀行等企業債 〃	51,600,000	0	6,407,229	45,192,771
政府企業債 〃	60,900,000	0	0	60,900,000
〃 〃 6 〃	313,300,000	0	0	313,300,000
銀行等企業債 〃	15,400,000	0	0	15,400,000
本院分 小計	7,303,764,664	0	538,956,763	6,764,807,901

(大江分院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期增加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平11年度	32,041,311	0	3,062,575	28,978,736
機構企業債 〃 15 〃	1,476,454	0	99,103	1,377,351
〃 〃 16 〃	19,081,117	0	1,101,433	17,979,684
〃 〃 26 〃	10,302,249	0	1,018,688	9,283,561
〃 〃	100,650,974	0	8,364,540	92,286,434
政府企業債 〃 27 〃	140,812,719	0	3,183,933	137,628,786
〃 令5 〃	61,500,000	0	7,647,231	53,852,769
大江分院分 小計	365,864,824	0	24,477,503	341,387,321

合計	7,669,629,488	0	563,434,266	7,106,195,222
----	---------------	---	-------------	---------------

4 令和6年度(前年度)決算状況

令和6年度の病院事業の運営につきましては、福知山市民をはじめとする近隣市町住民のますます高度・多様化する医療ニーズに応えるため、診療科の増設や医療人材の確保を進めました。また、計画した施設整備や医療機器整備等を着実に実施し、地域住民への安全で良質な医療サービスの提供に向け、必要な医療資源の確保・充実を推進しました。

施設関係につきましては、本院では経年劣化した中央監視制御装置や給湯配管設備、手術室空調設備等の更新を進め、昨年度から着手していた非常用自家発電機設備整備に関連する設計業務を完了しました。設備関係につきましては、手術支援ロボットシステムのバージョンアップを実施するとともに全身用X線CT診断装置の更新など医療機器の更新等を進めました。

本年度は徐々にコロナ禍前の業務状況にもどりつつあり、患者数は前年度より入院・外来とも増加し、総患者数は市民病院で 8,459人増の 354,541人、大江分院で1,279人増の 32,206人となりました。しかしながら、物価高騰による診療材料費、委託料、光熱水費等の支出額が増大、さらに、医師の働き方改革の猶予期限が終了して実動する年となり人材確保や給与改定による給与費が大幅に増加し、これらの支出の増加額に対する診療報酬の改定があったものの実情に見合うものではなく、その結果、本院では平成21年度以来となる決算純損失を計上しました。

本院の収支につきましては、入院、外来ともに診療単価が減少しましたが、患者数増により入院収益が増加し、診療収入は前年度比1.6%の伸びとなりました。支出につきましては職員数の増加や給与改定による給与費の上昇、さらに物価高騰による経費の増加など、支出額の大幅な増加と診療報酬の改定が経営努力をはるかに上回り、本年度は 93,112千円の純損失を計上することとなりました。

大江分院の収支につきましては、入院の患者数増と診療単価上昇により、診療収入は前年度比6.9%の伸びとなり、給与改定や物価高騰による支出の増加額を収入の増加額が上回った結果、本年度は 36,380千円の純利益を計上することができました。

市民病院について

(イ) 収支の状況

収益的収入 16,097,084,693円に対し、収益的支出 16,190,196,362円で収支差引 93,111,669円 の当年度純損失となりました。

(ロ) 患者の状況

年度末の受診患者延数は入院 112,920人(1日平均 309.4人)、外来 241,621人(1日平均 994.3人)となりました。病床利用率は 87.64%(一般病床 89.05%、結核病床 10.08%、感染症病床63.22%)となり、前年度に比し一般病床で3.56ポイント増加、結核病床で12.96ポイント減少、感染症病床で7.28ポイント増加し、全体では 3.54ポイント増加しました。

大江分院について

(イ) 収支の状況

収益的収入 742,887,089円に対し、収益的支出 706,507,223円 で収支差引 36,379,866円 の当年度純利益となりました。

(ロ) 患者の状況

年度末の受診患者延数は入院 17,530人(1日平均 48.0人)、外来 14,676人(1日平均 60.4人)、病床利用率は 92.36%(療養病床 93.29%、地域包括ケア病床 91.28%)となり 前年度に比し療養病床で 6.69ポイント、地域包括ケア病床で 6.80ポイントと増加し、全体では 6.74ポイント増加しました。